



日本情報通信株式会社

IBM Platinum Business Partner

所在地 » 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー15階
URL » <https://www.niandc.co.jp/sol/product/hamon/>
<https://www.niandc.co.jp/sol/gurudemo/>
お問い合わせ先 » NIC_Contact@NlandC.co.jp

IoTで見守り、労務管理する hamon for Worker Insights

日本情報通信株式会社(以下、NI+C)は、ミツフジ株式会社が提供する人の見守りサービス「hamon for Worker Insights」を開発しています。「hamon」とは、ミツフジ株式会社が開発したウェアラブルIoTデバイスで、ミツフジの伝導性繊維「AGposs」を織り込んだウェアに生体情報を発信するトランスミッターを取り付け、心拍数や加速度といった情報を収集・分析します。「hamon for Worker Insights」は、「hamon」のスマートウェアから生体情報を収集し、温度や湿度のような環境データなどを加え、IBM Cloud上のIoTプラットフォームに取り込み分析。ウェアを身につけている労働者の体調、眠気、ストレスなどを検知し、企業の労務管理を支援します。例えば熱中症になりやすい夏場の建設現場や工場の作業員、長時間労働のバス運転手、また、医療・介護の現場での高齢者など、見守りの対象にはいろいろな人が想定されます。このソリューションを利用すれば、外見や自己申告ではわからない発熱や心拍の変化などが一元把握でき、さらに「熱中症の危険性あり」「過度なストレスを感じている」というような洞察や、健康障害、睡眠障害などを予測して通知するため、未然にクリティカルな事故や怪我を防ぐことができます。

さまざまなツールを組み合わせ て労務管理から働き方改革へ

「hamon for Worker Insights」を利用することで、管

理者はデバイスを介して労働者を一括モニタリングできるため、一人一人を目視に頼って管理するという負担が軽減し、リスクと負荷が大きく減少することが見込まれます。さらに、集積したデータを分析すれば「工場のA地点は人が倒れやすい」といったこともわかり、そこから安全面を配慮した、工場内の導線やシフトの改善に繋げることもできます。

今後は、IBM IoT Connected Vehicle Insights(以下、CVI)という車両走行情報を分析するツールと「hamon」を組み合わせ、ドライバーの安全管理も展開していきます。例えば、長距離バスの運転手が突然急ブレーキを踏む地点や運転が荒くなる地点をCVIで割り出し、その時の体調の分析を「hamon」で行うことで、事故が起こりやすい地点を予測したり、適切なドライバー交代のタイミングを考慮したりという活用方法が検討されています。このように「hamon for Worker Insights」は、当初の目的であった見守りによる労務管理だけでなく、さまざまなサービスとの組み合わせによって働き方改革にも効果を波及させているのです。



Outstanding Watson
Internet of Things
Solution



Outstanding Technology
Support Services
Solution